

# ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間 写真パネル展

ノルウェー政府が3月4日、5日にオスロにて「核兵器の非人道的結果に関する国際会議」を開催します。

(日本政府代表として外務省から2名、日本被団協の田中昭巳事務局長、専門家から朝長万左男原爆病院長の4名が参加)

それに先立ち、3月2日、3日に核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) が「市民フォーラム」を開催します。私達被爆二世の会でも原爆被害の実相を普及するため、長崎で写真展を行います。

日時

3月2日(土)・3日(日)

10時～17時 写真パネル展

13時～ 「ナガサキの少年少女たち」映写

14時～ 被爆者による被爆体験講話

会場

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館  
交流ラウンジ (原爆資料館横)



原爆投下から67年が経ち、被爆者の平均年齢が80歳と高齢化しています。その被爆者である親を身近で見て育った私達被爆二世は、親の思いを受け継ぎ、後世に伝えていこうと、初めて『ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間』写真パネル展を開催することにしました。この写真パネル展を多くの方にご覧いただき、地球上から核兵器をなくすための世論が広がることを願っています。

—— 長崎被災協 被爆二世の会・長崎 会長 佐藤直子

お問い合わせ

長崎被災協 「被爆二世の会・長崎」 TEL 095-844-0958